

立命館大学国際平和ミュージアム 特別企画展示

石川文洋写真展

「戦争と平和・ベトナムの50年」



「米兵に知らん顔」農村地帯で軍事作戦をする米軍と市場へ向う農民の女性。1966年ビンディン省

9 / 14 - 10 / 9

SUN

THU

場 所 立命館大学国際平和ミュージアム 2F 展示室内
開館時間 9:30 ~ 16:30 (入館は 16:00 まで)
休館日 月曜日、祝日の翌日 ※9/15(月・祝)は開館。9/16(火)、9/24(水)は休館。
参観料 大人 400 円 (350 円)、中・高生 300 円 (250 円)、小学生 200 円 (150 円)
※上記()内は 20 名以上の団体料金 ※常設展も併せてご覧いただけます。
※9/17 より開催の特別展「世界報道写真展 2014」の期間中は、
大人 500 円となります (団体料金適用はありません)。
主 催 立命館大学国際平和ミュージアム

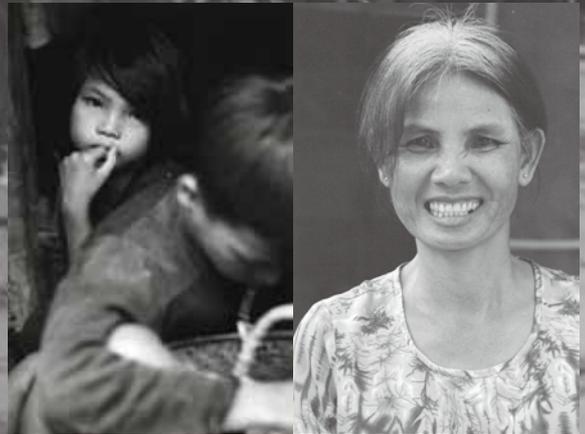
私は再会が好きだ。 お互いに生きているから 再会ができる。

1964年8月、アメリカ軍が初めて北ベトナムを爆撃した「トンキン湾事件」直後、私はサイゴン（現ホーチミン市）へ行きました。その後、南ベトナム政府軍、アメリカ軍に同行撮影を続けました。その時から今年で50年。ベトナムが変化していく様子を写真記録として残すことができ、カメラマンになって良かったと思っています。

——石川文洋

石川文洋氏は戦場を撮影した数少ない日本人カメラマンのひとりとして、1964年から南ベトナム政府軍・アメリカ軍に同行撮影し、戦争の実態を伝える作品を多数発表しました。現在、当館の地階常設展示室に展示されている氏の作品は、今なお当時と同じ衝撃を見る者に与え、戦争の本質を問いかけます。また同じく地階常設展示室では、当時撮影に使用されたカメラなど、氏の所蔵する貴重な資料も公開しています。

本展では、約50点の写真や報道資料を、本人直筆の解説とともにご覧いただきます。氏が初めてベトナムを訪れてから50年にあたる本年、あらためてその作品と向き合う機会となることを、そしてベトナムにおける戦争と平和の50年に思いをはせる機会となることを願って開催します。



- 1 「村にはまだ子どもが」突然、米軍に攻撃された農村から二人の母が逃げてきた。1966年ビンディン省
 2 「戦争を見つける幼い瞳」ファン・チ・ソー（10）の目の前で米兵によって叔父と老人が撃たれた。1966年 タイニン省
 3 「再会」52歳になったソーさんと会った。二人の娘がいた。今は孫がいるかもしれない。2008年 タイニン省
 4 「さようなら またきてね」ベトナム戦争後に生まれた両親から枯葉剤の影響を受けた孫が生まれている。2013年 タイニン省
 ※表（背景）「農村へ突入」ヘリコプターで運ばれた兵士が村を攻撃する。農民は突然、襲ってきた兵士に驚く。銃撃され死傷する農民も多かった。
 第一騎兵師団。1966年ビンディン省
 ※裏（背景）1968年、サイゴン市街戦

石川文洋（イシカワブンヨウ）

1938年沖縄県那覇市生まれ。64年毎日映画社を経て香港のファークス・スタジオに勤務。65年1月～68年12月、フリーカメラマンとして南ベトナム（当時）の首都サイゴン（現ホーチミン市）に滞在。69年～84年、朝日新聞社カメラマン。84年～現在、フリーカメラマン。98年ベトナムのホーチミン市戦争証跡博物館内に石川文洋写真常設展示室開設。2009年沖縄市が開設した「戦後文化資料展示室ヒストリートII」に、作品が随時展示される。主な写真展に、「戦争と民衆」「カンボジア 民衆とアンコール遺跡」「琉球舞踊」「大航海時代」「普賢岳・深江町の1年」「ヴェネチアの幻想」「沖縄の基地とアメリカの戦争」「日本縦断徒歩の旅 — 65歳の挑戦」「世界の笑顔」「四国八十八カ所」などがあり、主な著書に、『戦争はなぜ起こるのか — 石川文洋のアフガニスタン』（冬青社）、『日本縦断徒歩の旅 — 65歳の挑戦』『カラー版 ベトナム 戦争と平和』『カラー版 四国八十八カ所 — わたしの遍路旅』（以上、岩波書店）、『石川文洋のカメラマン人生 貧乏と夢編』『石川文洋のカメラマン人生 旅と酒編』『てくてくカメラ紀行』『アジアを歩く』灰谷健次郎共著（以上、エイ文庫）、『サイゴンのコニャックソーダ』（七つ森書館）、『私が見た戦争』『まだまだカメラマン人生』（以上、新日本出版社）などがある。

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1
 TEL: 075-465-8151 FAX: 075-465-7899
<http://www.ritsumei.ac.jp>

 立命館大学
国際平和ミュージアム
 Kyoto Museum for World Peace,
 Ritsumeikan University

〔交通案内〕

- JR・近鉄京都駅より 市バス50 JRバス
- JR・地下鉄二条駅より 市バス15・55
- 地下鉄北大路駅より 市バス204・205
- 京阪電車三条駅より 市バス15・59
- 阪急電車烏丸駅より 市バス51・55
- 阪急電車西院駅より 市バス205
- JR 円町駅より 市バス15・204・205

市バス15・50・51・59にて「立命館大学前」下車／徒歩5分
 市バス204・205にて「わら天神」下車／徒歩10分

※お車でのご来館はご遠慮ください。

